

令和2年8月15日

**グループホーム暖らん  
令和2年度第2回 地域運営推進会議**

出雲市において7月14日、7月27日付けで新型コロナウイルス感染例が報道されました。このため今年度第2回の会議は、委員の方に資料をお送りする書面会議の方法をとらせていただくことと致しました。

令和2年度第2回 地域運営推進会議資料

1. (本資料)
2. 暖らん便り no.7

本資料その他についてご不明のこと、ご意見などございましたら、管理者までご連絡いただきますようお願いいたします（電話25-8581 グループホーム暖らん管理者：山崎）。

**資料送付先**

出雲市介護相談員・塩冶地区福祉委員様  
塩冶地区住民代表様  
塩冶地区民生委員・児童委員様  
出雲市高齢者福祉課様  
高齢者あんしん支援センター様  
社会福祉法人星隆会理事長

**1. ご利用状況**

本年3月初め以降、9名の方に入居いただいています（定員9名）。

男性 1名、女性 8名  
平均介護度 2.1 平均年齢 87.9歳

**2. 5月以降のご利用者の活動**

別紙「暖らん便り7号」を参照してください。ご家族にも送付しました。

**3. 新型コロナウイルス感染対策について**

6月以降、面会の制限を緩和していましたが、7月14日付感染確認を受けて、原則として「原則として面会はお断りさせていただく」ようにしております。

事情があつて面会される場合は、面会記録の記入、検温、手指消毒、うがいをしていただき、マスク着用で常時換気した広い「にこにこルーム」において、できるだけ短時間でお願いしています。

職員の検温、マスク使用、消毒、事業所内の定時アルコール消毒は継続しています。

冷房を使用する時期になりますがエアコンでは換気ができないことから、換気に努めるようにしています。

**4. 令和元年度外部評価の「聴きとり調査」について**

新型コロナウイルスのため延期していましたが、評価員が事業所に出向いて行う面談、聞き取りが7月16日（木曜）に実施されました。出雲市内で新たな感染確認事例がありました。聴きとりはにこにこルームで十分に換気し、距離をとって行いました。

提出済み資料をもとに主に管理者からの聴きとりが行われました。他に職員、計画作成担当者への聴きとりもありました。入居者と同じ昼食を摂り（ご利用者の食事されるリビングとはガラス扉で隔てた事務室で）、午後に総括的な評価、意見交換が行われました。

今後、聴きとり調査を元に調査員が評価結果を作成し、公表される予定です。

## 5. その他

面会の制限などで入居される方のご様子をご家族により詳しくお知らせするため、「暖らん便り」とは別に、ご利用者一人ひとりの月ごとの活動の様子を写真にして6月、7月にお送りしました。またそれとは別に、希望されるご家族に、昨年1年間に撮りためた写真をご利用者ごとにアルバムに作成してお届けし、好評をいただきました。

\*\*\*\*\*

### 市役所高齢者福祉課からの質問

「新型コロナの対応の中で職員に何らかの行動制限を実施しているか？」

### 回答

1. 4月以降、職員は感染リスクの高い地域への移動や施設の利用を自粛する行動制限を自発的にしており、現在も継続している。

2. 7月中旬以降、法人内の職員について、本人または家族、親族等が下記のような感染リスクの高い行動がある（あった）場合、施設長に報告をすることとしている。その地域や滞留期間、行動内容などのケースごとに検討、相談して、念のため健康観察期間として一定期間（原則2週間）勤務を休んでもらうこともあるとしている。

そのため自然と職員、その家族等は、予めそうした行動を自粛、制限する状況にある。

- a. 感染確認例の（濃厚）接触の可能性がある場合
- b. 本人または家族等が感染リスクの高い地域に滞在した場合
- c. 感染リスクの高い地域から家族、親族が帰省等して滞在する場合
- d. その他感染リスクがある行動や状況にある場合

グループホーム暖らんでは8月24日までは、実際にそうした報告があったこと、勤務を休むということはない。しかし、9月にそうした理由で2週間は勤務に従事しないこととしている職員も予定されている。

以上